



新年明けましておめでとうございます



昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事が中止や変更には追いつかれ、大変な思いを大人も子どもも経験することとなりました。さらに子どもや高齢者や障がい者などの社会的・経済的弱者へのしわ寄せが顕在化し、特にひとり親家庭の子どもの貧困、児童虐待、ヤングケアラーの問題など、「新型コロナウイルス感染症」は日本社会の脆弱性を炙り出すこととなりました。

さて、そんな社会をつくり出した自公政治を「変えよう！」と臨んだ衆議院選挙でしたが、改憲勢力が多数を占めることとなり、憲法審査会の審議が加速されることも予想されます。今年は、平和憲法を護るための重要な節目の年となるでしょう。「教え子を再び戦場に送らない」ために、これからが「正念場」なのです。各分会でも「憲法学習」に取り組み、憲法改悪を阻止するための力量をつけていきたいものです。

2022年1月

執行委員長 古賀 浩



だれもが生まれてきて良かったと思える社会にするために (遅くなりましたが、当選の御礼)

★第49回衆議院選挙において、組織内候補である堤かなめが125, 315票を獲得し、見事**当選**を勝ち取りました。福教組から衆議院議員が誕生したのは40年ぶりの快挙です！

福岡5区 堤かなめ(日政連議員)当選 福岡10区 城井たかし(推薦)当選 福岡9区 緒方林太郎(支持)当選
組合員のみなさん一人ひとりの協力と努力のおかげです！ありがとうございました。

2022年夏
参院選比例代表候補
古賀ちかげの
当選を勝ち取るため
団結してがんばろう！
(福教組出身、立憲民主党)

団結!

組合の「交渉」によって実現する私たちの「権利」 ～一人ひとりがバラバラでは実現しない！～

2021年 北九州市人事委員会 勧告のむすびには、下記の①と②が書かれています。

- ①超勤削減について:「学校長の適切なマネジメントや教職員の一人一人の意識改革の下、学校現場の特殊性も踏まえながら、引き続き、長時間労働の改善やワークライフバランスの実現に努めていく必要がある」
 - ②「新型コロナウイルス感染症」について:「各学校の実情に応じて教職員が担うべき業務であるか否かをしっかりと整理し、どの学校においても、教職員が児童・生徒と向き合う時間を十分に確保できるように努められたい」
- 勧告は当局委員会も現場の管理職も拘束されるものです。職場での論議の参考にしていただければと思います。

「出生サポート休暇」新設！ ※「不妊治療のための休暇」の名称が「出生サポート休暇」となりました。

- ◆ 一休暇年度に5日の範囲内とする。ただし、体外受精や顕微授精等の頻繁な通院が必要とされる治療を受ける場合は、更に5日を加えた範囲内とする。
- ◆ 1日、半日又は1時間単位とし、年次休暇の取扱いに準じる。ただし、1時間単位の休暇は5日の範囲を超えて取得できるものとする。
- ◆ 会計年度任用職員についても、同様の取扱いとする。 ◆ 実施時期 令和4年4月1日とする。

全国の組合員の仲間の切実な要求が人事院を動かし、「出生サポート休暇」として実を結びました。みなさんが組合員であるおかげで「救われる」人が全国に何万人もいるのです。今年も北九州市教組は、働きやすく、働きがいのある教育現場にするために闘い続けていきます。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎 3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

